

2日目 平が岳 7月9日

もう深田久弥を恨むわあ、どうしてこの山が百名山なのか。

もっとも深田久弥が登ったときは3泊4日で登り、水上温泉へ抜けたそうですから、現在とはルートが全く違います。現在の、百名山のなかで日帰り登山最難関と言われる面影は全くないでしょう。

ルート図で見ても行動時間は10時間以上、早立ちを心がけましたが、登山口の出発は午前5時20分とちょっと遅かった。

2時間かかってヤセ尾根を登り、ここから少し楽になると思いきやアップダウンの連続。這う這うの体で急登を登ると視界がパッと開け、そこには池塘が。そして初めて山頂が見えました。

午前11時まえにやっと着いた山頂は、平らで池塘が点在しどうしてこんな風景が広がるのか、不思議だなあ、と思うもこの辺りの山域にはいくつかこういう山があります。

前日登った会津駒ヶ岳もそうだし、遠く苗場山は代表的です。

大休止の後には、元の道に戻らねばなりません。

これも簡単に考えていたら、下りで4時間30分ぐらいかかりました。

下山は午後4時、実に10時間40分もの行動時間でした、ああ、しんどお。

コースタイム

鷹ノ巣登山口駐車場 5:20 ~ 10:50 平が岳山頂 11:20 ~ 16:00 鷹ノ巣登山口駐車場

3日目 燧ヶ岳 7月10日

予定はあくまでも予定で、前日の10時間超の行動時間で燧ヶ岳登山は夕食時に辞めようという話になり、この日は帰りながらの観光になりました。

会津西街道の大内宿、江戸時代の宿場町の面影を残しているという評判で、一本ネギそばが有名。長ネギ一本でそばを食べるんです。食べにくいったらありゃしない。結局到着時間がお昼前で食べませんでした。

その後は、日光東照宮へ行きました。入場料1300円を払っての見学。徳川家康の繁栄と栄華を堪能できました。

その後宇都宮で餃子を食べ、予定よりも早く帰路に就いたのでした。